

戦争をさせない 1000 人委員会

JJ1SXA/池

憲法を破壊する集団的自衛権の行使反対！ というので、「戦争をさせない 1000 人委員会」(事務局長・内田雅敏弁護士)というのができたようです。

呼びかけ人一覧を見ると、「憲法 9 条の会」「96 条の会」に名を連ねる、改憲反対の典型的な左翼の面々です。

大江健三郎、大田昌秀、上野千鶴子、奥平康弘、落合恵子、中山千夏、雨宮処凜、佐高信、鳥越俊太郎、辛淑玉、秋葉忠利(元広島市長)、本島等(元長崎市長)、等々の顔ぶれです。

とにかく改憲は絶対許さないと言う妄想に凝り固まっている人たちです、こんなことを主張している、「…国際的な紛争は粘り強く話し合いで解決する、という人類普遍の理想…」、世界の現状で、簡単に通じる理想か？理想は良いが単なる空論と化しているのが現状では無いか？

今の日本の安全保障環境をどのように解釈しているのか？また、こんなことも、「日本国憲法」は平和主義を基調としています、この 69 年間、日本は一度も戦火を交えることなく、武器によって殺しも殺されもせず、世界に平和を訴え続けてこられたのも、この平和憲法が世界で支持されてきたからでした。…本当にそうだろうか？

現実には、国際的な紛争は数多く起きており、話し合いで解決したいと思っても、ほとんどが話し合いでは解決していない、外交は、背後に経済力・軍事力が無ければ非常に弱い立場だというのは通説、それが現実だ。

日本に現憲法があったから平和だったというが、実際は日米安保条約で守られており、日本は何も考えず、何もしないで、のうのうと平和を享受してきたのでは無いか？そういう安全保障環境だっただけの話、現在の環境は大きく変わっている。

今、アメリカの力の衰えと、これに反比例する中国の台頭、吟味した備えが必要なのは当たり前のこと、南シナ海での中国の振舞いを見ているのか？東シナ海に同じようなことがすでに起きつつある現実はどうするのだ、そんなことは関係無く、ただただ護憲だと叫ぶのは、余りにも無責任。

日本人の誰もが、平和で、戦争とは無関係でいたいと思っている、護憲派の人だけが、そう望んでいるんだと思いが上がっているのか？馬鹿も休み休み言えと言いたい。

なまじ有名になったことで、俺は、私は、知識人だ偉いんだと思っている輩の多いことに気が滅入る、実際にそうかなと思いつまされている国民が多いのも事実だが、だからこそこの人たちの罪は重い。

安倍総理が防大卒業式の訓示で、集団的自衛権行使について、「…平和国家と唱えるだけで平和が得られるわけではない、現実から目を背け、建前論に終始している余裕も無い…」と述べていたが、全くその通りだ。

(23.Mar.2014 記)